

## ヒト T 細胞白血病ウイルスの経母乳感染に関する日本小児科学会の見解

ヒト T 細胞白血病ウイルス I 型 (HTLV-1) は、成人 T 細胞白血病 (ATL) や HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) の原因で、主たる感染経路は母乳を介した母子感染です。ATL は白血病・リンパ腫の中でも最も予後が悪く、国内で年間 1,000 人を超える死者を出しています。HAM の生命予後はそれほど悪くありませんが、歩行障害や直腸膀胱障害のために患者の QOL を著しく下げる慢性疾患です。現在これらの HTLV-1 関連疾患を防ぐ唯一の方法は「母子感染によるキャリアを作らない」ことのみです。ただし、母乳栄養による母子感染率は 15~20% であるのに対し、完全人工栄養の場合は約 3% とされ、母乳遮断は有効な手段であることは間違いのないものの完全なものではありません。また非流行地では抗体検査における偽陽性が相対的に多く見られることや、陽性と判明した場合の保健指導体制が整っていなかったことから、これまではキャリアの頻度が高い地域の一部のみで妊婦のスクリーニングとその結果に基づく保健指導によって母子感染を防ぐ取り組みが行われ、一定の成果を上げてきました。

しかし、平成 20 年度の厚生労働科学研究班の調査によって、HTLV-1 キャリアが大都市圏に拡散していることが判明したことを受けて、平成 21 年度に厚生労働科学研究「HTLV-1 の母子感染予防に関する研究」(主任研究者：齋藤滋) により、妊婦の HTLV-1 スクリーニングを全国的に行うことを検討するよう提言され、日本産科婦人科学会の産科診療ガイドライン 2011 年改訂版にも妊婦の抗体スクリーニング検査は推奨ランク A (「強く推奨する」) に定められました。さらに厚生労働省において、HTLV-1 抗体検査を妊婦健康診査の標準的検査項目に追加するとともに、妊婦健康診査臨時特例交付金の妊婦一人あたりの補助単価の上限額を引き上げる決定がなされ、また、官邸に設置された HTLV-1 特命チームにおいて「HTLV-1 総合対策」が取りまとめられ、その中でも HTLV-1 母子感染予防対策の整備を重点対策の一つに据えることが明記されました。これら一連の動きを受けて、平成 22 年度厚生労働科学研究「HTLV-1 母子感染予防のための保健指導の標準化に関する研究」(主任研究者：森内浩幸) により、全国の母子保健医療従事者に対してキャリア妊婦への具体的な関わりを示したマニュアルが作成されました。

日本小児科学会は、キャリアから生まれる子どもへの母子感染を可能な限り防ぎ、将来の HTLV-1 関連疾患の患者を少しでも減らすことができるようにす

るとともに、不適切な説明や指導のためにキャリア妊産婦が大きな精神的負担を担ったり家族問題を抱え込んだりすることがないように、このマニュアルに沿って適切な保健指導が行われることが必要だと考えます。つまり、

- 1) 全ての妊婦が HTLV-1 抗体のスクリーニングを受けること
- 2) スクリーニング陽性であった場合、必ず確認検査を行うこと
- 3) キャリアと同定された妊産婦への通知と栄養方法の選択に関する説明は、妊産婦の抱える心理的・社会的な背景などに配慮し、正しい情報の提供を行い、妊産婦が十分理解し自身で意思決定できるよう支援すること
- 4) キャリアから生まれた子どものフォローアップ体制を整えること
- 5) キャリアを支えるためのカウンセリング体制・サポート体制をそれぞれの地域で構築すること

が必要であり、それらを支援していきます。

なお、キャリア妊産婦以外の場合の母乳哺育の重要性は揺らぐものではなく、またキャリア妊産婦においても、どの栄養方法を選択するかは、生まれる子どものリスク（低出生体重児など）や家庭環境等に応じて個々に判断されるべきであることも強調いたします。

#### 参考文献)

長崎県 ATL ウイルス母子感染防止研究協力事業連絡協議会. 長崎県 ATL ウイルス母子感染防止研究協力事業（APP）報告書～20年のあゆみ～. 平成 20 年 3 月. 厚生労働省科学研究費補助金新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業「本邦における HTLV-1 感染及び関連疾患の実態調査と総合対策」研究班(主任研究者：山口一成). 平成 21 年度総括報告書.

厚生労働省科学研究費補助金行政政策研究分野厚生労働科学特別研究「HTLV-1 母子感染予防に関する研究」研究班(主任研究者：齋藤滋). 平成 21 年度研究総括報告書.

厚生労働科学特別研究事業「HTLV-1 母子感染予防のための保健指導の標準化に関する研究」研究班（主任研究者：森内浩幸）平成 22 年度研究報告書.

日本産科婦人科学会 産科診療ガイドライン 2011 年度版.